

## 大学評価（認証評価）への対応状況

## 【大学に対する提言：努力課題 H27.3】

教育内容、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

- ①国際地域学部および人間生活学部において、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が大学ホームページと「学生便覧履修の手引」等で記載方法や内容に異なる部分が見られるので、改善することが望まれる。
- ②国際地域学部国際地域学科および人間生活学部子ども学科において、1年間に履修登録できる単位数の上限を設定していない点について、単位制度の趣旨に沿って改善が望まれる。
- ③国際地域学部および人間生活学部において、シラバスの成績評価基準の記述にあまりないものが多いので、改善が望まれる。

教育研究等環境

- ④専任教員の1年間の授業担当時間数について、不均衡が生じており、一部の教員に授業負担が偏っているので、改善が望まれる。
- ⑤大学の校舎や教育研究設備の一部は老朽化しており、学生、教職員の教育研究活動に支障が出ないよう改善が望まれる。また、大学全体として週末の施設の施設利用を制限していることや課外活動施設の不足は、学生の学習、地域貢献や課外活動を阻害する要因となっており、改善が望まれる。



## 【改善報告書検討結果：概評 R1.5.9】

2014年度に本協会による大学評価に際し、貴大学に対して、努力課題として5項目の改善報告を求めた。(中略)今回提出された改善報告書からは、貴大学が、これらの努力課題を真摯に受けとめ、意欲的に改善に取り組んできたことが確認できた。

ただし、努力課題として指摘した、1年間に履修登録できる単位数の上限については、「教務委員会」で検討し、2017年度から定めたものの、1学期26単位（1年間で52単位）と多く、また、4年次には上限を設けていないことから、更なる改善が望まれる。

以上の事項について、引き続き検討を重ね、より一層の改善に尽力し、貴大学が、その目的の実現のために、不断の改善、改革に取り組むことを期待したい。



## 【第3期への反映方針】

指摘された事項は改善済みであるので、認証評価結果は反映しない。